

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度あま市防災会議
開 催 日 時	令和２年２月２０日（木） 午後２時から午後３時１５分まで
開 催 場 所	あま市役所本庁舎３階 特別会議室
議 題	あま市地域防災計画（案）について
会 議 資 料	あま市防災会議次第 あま市地域防災計画（案）の修正要旨 あま市地域防災計画（案） あま市国民保護計画（案）の修正要旨 あま市国民保護計画（案） あま市業務継続計画（案）
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍 聴 人 の 数 （公開した場合）	０人
出 席 委 員	村上浩司、佐々木晃、早川安広、松永裕和、石田隆義、鏡味光廣、河竹正幸、小島裕司、岩田寿夫、新美君栄、服部章平、富田悦充、渡邊剛、井村なを子、塚本 都、伊藤聖年、森山道浩、木村利男、中野治也、新井伸夫、今川祐作、早船善恵
欠 席 委 員	後藤 幸正、片岡博喜、瀧本 雄
事 務 局	（総務部） 牛田部長 （安全安心課） 徳永課長、鈴木主幹、原野課長補佐、藤原主事、中村防災専門員

会議録（要旨）

- 1 会長あいさつ
- 2 委員の委嘱について
- 3 あま市地域防災計画（案）について

●事務局

あま市地域防災計画（案）の修正要旨を説明

【質疑応答】

○委員

昨年の15号や19号において、被災した市町村では激務で3日間寝ていない部署もありながら、定時で帰っていく職員がいたと聞いております。非常時にもかかわらず、普段の事務分掌にとらわれて自分の範囲はここまでとおっしゃる方がいるのはいかがなものか。例えば、新人職員に対する防災研修や昇任して部課長になった方は災害発生時に自分の枠を超えてお互い助け合うというような意識をもつことが重要であるため、確認するような時間をとっているのか、十分でなければ力をいれていただきたい。

●会長

台風接近に伴う非常配備体制について、従前より課を超えた体制となっている。災害対策本部をより効率的に運営できるよう、職員の配置方法を変更した。また、新人職員に対して、職員も被災者となることを配慮しつつも、災害発生時に出勤できないと言わないよう私からメッセージを流している。

●事務局

市内で被害が発生した想定で、災害対策本部に集まってくる情報の収集やその情報を各課へ伝達する本部運用訓練を実施している。また、幹部職員に対しては、災害対策本部員会議を訓練に限らず台風接近時などに実施し、情報共有できるようにしている。なお、本年度策定する業務継続計画に対応した参集訓練や対応訓練を今後検討し、職員に防災に対する意識付けを広く実施していきたい。

○委員

あま市が被災した際、職員が一丸となって災害対応していただくことを期待する。市役所の中で、私はまだ負荷が少ないから他の人を助けるなどの自発的に声をかける醸成を整えてほしい。

○委員

ハザードマップを作成する目的は。また、小学生に対して、ハザードマップを理解していただけるよう配慮していただきたい。

●会長

今あるハザードマップを見直し、市民に配布する予算を令和2年度予算に盛り込んだ。

●事務局

現在、地震と水害の2種類のハザードマップを市民に対して配布しているが、洪水や津波を含めハザードマップを来年改めて作成し、全戸配布する。また、市民の中にはハザードマップの存在を知らない方がいるため、住民の周知方法として、協力いただける商業施設への設置、広報紙や公式ウェブサイトの活用、自主防災会訓練や出前講座など地域の集まりでの情報発信をしていきたい。加えて小中学生向けにハザードマップの概要版を用いた防災学習を実施する予定。

【計画の修正について】

委員全員の賛成により、原案のとおり決定

4 その他

(1) あま市国民保護計画（案）について

●事務局

あま市国民保護計画の修正要旨（令和元年度）を説明

(2) 業務継続計画（案）について

●事務局

業務継続計画（案）を説明

(3) 国土強靱化地域計画について

●事務局

国土強靱化地域計画を説明

○委員

業務継続計画（案）について、各課にヒアリングを実施して災害時実施すべき業務を絞り込むことは必要。また、職員が自ら被災すると、人員が不足するため、外からの応援に対応する受援計画が重要になってくる。昨年の千葉県における被害の際、東京電力は他から来た応援部隊を使い切れなかったという反省がなされている。応援に来ていただいた方は土地勘がないため、そのような方々に対する準備などを具体的に検討してほしい。

また、災害発生時は大勢の職員が災害対応しなければならないが、小さなお

子さんをお持ちの職員は自宅待機をせざるを得なくなることもある。例えば職場内に臨時の保育所を立ち上げるなど、非常参集できない人がたくさんできてしまう状況を避ける対策を講じるべき。

国土強靱化地域計画について、ぜひ住宅の耐震化率を上げてほしい。倒壊による震災ゴミが生まれる上、仮設住宅の建設件数が上がるため、財政面から場所の確保からも非常に大変となる。ぜひ事前対策として手厚くしていただいた方がいい。予算要求にも含めて検討してほしい。

○委員

災害廃棄物の集積場所と想定量を教えてほしい

●事務局

環境衛生課にてあま市災害廃棄物処理計画を策定している。災害廃棄物の量は、可燃物4万トン、不燃物5万4千トン、柱角材4600トン、コンクリート12万6千トン、金属1万3千トン、土砂4万9千トンと推定している。仮置き場の候補地として、篠田・安松・東溝口の最終処分場及び二ツ寺の親水公園を予定している。

○委員

市民として自衛隊の方に期待しているが、行政や地域との緊密性があまり感じられない。

●事務局

今年度も市防災訓練にて、足湯の設置、手術車の設置、炊き出しの支援をしていただいた。特別訓練にも参加していただいて市民病院や消防署などの機関と連携できた。

自衛隊OBで約2年あま市にて勤務している防災専門員ですが、出前講座などで自衛隊の活躍している姿や自衛隊がどのような活動ができるかを紹介している。

また、密接な関係を構築できるよう、本日の会議にこの地域を担当している部隊の部隊長にきていただいた。